

まなびの ポケット

知育遊びで育つ!

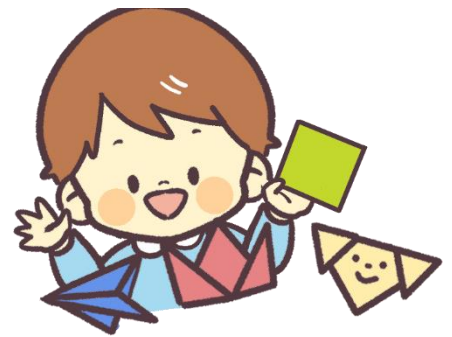
思考力や行動力!

絵本、パズル、積み木、粘土はもちろんのこと、カードゲームやボードゲームなどルールのある遊びも知育遊びのひとつです。遊びと知育の違いの1つは、子どもの発達を促すという明確な目的があるかどうか。子どもが意欲的にその目的を達成できるよう、発達段階に応じて一緒に遊んでみましょう。

関わり方のヒント

1 大人の見本は最初だけ!

通常の遊びと異なり、知育遊びはできるだけ子どもを主体として遊びましょう。大人は手助け程度にして、子ども自身が意欲的に行動し、考えながら遊べることを目指しましょう。



2 「教えよう」と意気込みすぎない!

「教える」という行為は時に力が入ります。子どもの手を「こうやって!」と無理やり促したり、子ども自身が“自然体でない遊びだ”と感じると嫌がられることも…!

3 遊びの展開と繰り返しが大切!

「何でこうなるんだろう? こうしたらどうかな?」と子どもが感じていたら、見守ったり、一緒に考えたりしていきましょう。遊びを展開し、繰り返すことで、子どもの思考力や行動力が育っていきます。

